曇天

原民喜

青空文庫

放蕩の後の烈しい哀感が街中に慄へてゐるやうな日だった。

浅草を過ぎ上野まではバスで、上野から省線で田町へ来ると、遙かなる旅でもして来たやうだった。疲れてはゐたが何か興奮してゐた。光本は下宿に帰って夜具を敷いて寝たが、すぐに目が覚めてしまった。自分の首に安白粉の匂ひが残ってゐて、それが耐らなく彼を訶んだ。青ざめた顔をして今日は誰にも識った人間に遇ひたくはなかった。彼は何処かへ逃避したい気持で一杯だった。ふと彼はキネマの闇が恋しくなった。

芝園館へ行ってみると満員であった。光本は疲れた身体を観衆に押狭まれながら立ってゐた。映画はキイトンの喜劇であった。観衆は時々どっと笑った。光本は自分が一寸も笑はないのに気がついた。どうしてあんなことが可笑しいのかと思へるやうな処でも、観客はわーと笑った。彼は笑へない自分を自分でみじめだと思ひ始めた。すると昨夜の記憶が時々兇暴な刃物のやうに脳裡に閃いた。

ふと、前の席にゐるらしい婆さんが何でもない処でワハと笑ひ出した。すると一同はそれがをかしいとみえて、くすくす笑った。婆さんは図に乗って、また暫くするとワハと笑った。すると観客はまた従いて笑った。婆さんは完全に笑ひをリードしてしまった。流石に光本も今は微笑を浮かべるのであった。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日初版発行
入力：蒋龍
校正：伊藤時也
2013年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

曇天

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/